

	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●									8	9.1		11	12				
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。	●				3	4				8	9			12				

環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●	・有害化学物質は把握し、適切な管理・処理に取り組んでいる。特に屋根材に含まれる石綿対策として石綿作業主任者技能講習や作業者特別教育研修を受講している。	3.9		6.3			11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●	・太陽光発電システムを導入したり事務所の照明器具をLEDに交換するなど節電に努めている。 【予定】令和4年1月から簡易計算シートによりエネルギー使用量を算出し削減に取り組んでいく。			7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●	・太陽光発電システムを導入するなど温室効果ガスの削減に取り組んでいる。 【予定】令和4年1月から簡易計算シートにより温室効果ガス排出量を算出し削減に取り組んでいく。	2.4			7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●	・事業及び従業員の活動において、廃プラスチックやレジ袋等の使用削減に努めるようにしている。また、毎年江津湖の清掃ボランティアに参加し、緑地や水辺の環境整備に努めている。				6.6						14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●	・再生用紙の利用やペーパーレス化、裏紙の利用を促進している。また、事業活動における資源利用の削減や、資源の再利用を推進している。					9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●	・日頃から節水に努めることを従業員に呼びかけるとともに、汚水等の適切な処理を実施している。	2.4			6.1 6.3 6.4 6.6 6.a			11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●	・再生用紙の利用や環境に配慮した製品の購入に努めている。また、廃瓦をリサイクル資源として活用する検討を行っている。					9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		1	2		6.4				12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●	・ライオンスクラブの緑化事業に積極的に参加している。また、事業所敷地内駐車場の一部を緑地帯にしている。							11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●	・太陽光発電システムを導入したり、事務所の照明器具をLEDに交換するなど再エネ活用と節電に努めている。				7.1 7.2 7.3 7.a	9.4			11.5		13.1 13.3			
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●					6		9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15	
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●					6.1 6.3 6.6				11.3 11.4 11.5	12.2	13		15	
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●	・ヨットクラブの活動を通じて、海洋ゴミや海洋汚染の防止削減活動に参加している。また、日頃からプラスチックの使用削減や環境にやさしい素材の使用に取り組んでいる。								12.2 12.5		14			
35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●							9.4		11.2		13.1 13.3				
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●					7.1 7.2 7.3 7.a	9.4			11.6 11.a	12.8	13			17.17	

